



問 飯野小校門前のドライバーへの注意喚起



奥村有史議員
(飯野小6年)

3年前の地震を契機に、飯野小正門前の国道443号の交通量が増えています。大型ダンプや通勤の車などが途切れず、横断歩道がないと渡れない状況です。昨年度は、近隣の人の死亡事故も起こっています。

土山・本土山・下砥川・飯田から登校する私たちは、校門前の押しボタン式横断歩道を渡っています。多くのドライバーは止まってくださるのですが、中には赤信号で進入して来る車もあります。また、渋滞して横断歩道が見えない状況もあり、見落とされがちのように感じます。

つきましては、ドライバーへの注意喚起を呼びかける看板や信号機など、スピードが出ないような取り組みをしていただければと思います。

答 サイン表示設置を検討し、御船警察署に取り締まり強化を要請

国道443号の飯野小周辺の現状は、車道と歩道の分離、押しボタン式信号機と横断歩道、スクールゾーン

ン看板などの安全対策が行われております。しかしながら、飯野小児童の皆さまは、通行車両の台数の多さに加え、歩行者の安全を無視したマナー違反のドライバーもいることに不安を感じておられ、さらなる対策が求められます。

そこで、「通学路につき、歩行者には細心の注意が必要であること」をドライバーに訴えるサイン表示の設置を検討します。現在設置されているスクールゾーン看板よりもドライバーの注目を引く内容とし、道路照明灯の支柱など、目に付く位置に取り付ける方向で検討します。

次に、信号無視や速度出し過ぎのドライバー対策として、御船警察署に対して、登下校の時間帯を重点とした交通取り締まりの強化を要請します。

また、渋滞する国道443号を避けるため、通学路である集落内の道路を通り抜ける車両も多く、登校中の安全を脅かしていることから、飯野校区の区長、御船警察署員、役場担当者の3者による飯野校区の通学路の合同点検を、5月に実施しました。その中で、通り抜け車両の通行を制限する交通規制の必要性を確認し、現在、警察において具体化に向けた検討が行われているところです。

以上のとおり、皆さまの安全をより一層高めるために、さまざまな対策を進めていきます。

問 惣領橋の歩道について



丸山真緒議員
(広安小6年)

益城中の近くの、惣領橋から惣領神社までの歩道は道幅が狭く、危ないと感じることがあります。惣領橋には、飯野方面を正面とした左側には歩道がなく、特に中学生は、その多くが、学校に向かうために歩道のない橋の左側を通っています。

平日の朝は交通量が多く、仕事に行く車や登校中の自転車などをよけながらの登校となり、車も歩行者も危険な状況です。事故を防ぎ、安心して暮らせる町にするために、ガードレールを設置するか、歩道を広くしてほしいと思いますが、いかがでしょうか。

答 令和2年度に拡幅予定

ご指摘のとおり惣領橋から惣領神社までの道路に関しては、通学路として通行が多い箇所なので、歩行者の安全確保が必要です。

この道路は、県道益城菊陽線という道路で、県が維持管理している道路です。町内の主要道路の一つでもあり、車の交通量が非常に多い道路